

令和2年度（2020年度）採択プログラム 中間評価調書
 卓越大学院プログラム プログラムの基本情報 [公表。ただし、項目12、13については非公表]

機関名		九州大学		整理番号	2004	
1.	プログラム名称	マス・フォア・イノベーション卓越大学院				
	英語名称	Graduate Program of Mathematics for Innovation				
	ホームページ (URL)	https://www.jgmi.kyushu-u.ac.jp/				
2.	全体責任者 (学長)	ふりがな 氏名 (職名)	いしばし たつろう 石橋 達朗 (九州大学総長)	※ 共同実施のプログラムの場合は、全ての構成大学の学長について記入し、申請を取りまとめる大学（連合大学院によるもの場合は基幹大学）の学長名に下線を引いてください。		
3.	プログラム責任者	ふりがな 氏名 (職名)	つじい まさと 辻井 正人 (九州大学大学院数理学研究院・研究院長)			
4.	プログラムコーディネーター	ふりがな 氏名 (職名)	さえき おさむ 佐伯 修 (九州大学マス・フォア・インダストリ研究所・教授)			
5.	設定する領域	最も重視する領域【必須】	②社会において多様な価値・システムを創造するような、文理融合領域、学際領域、新領域			
		関連する領域 (1)【任意】	③将来の産業構造の中核となり、経済発展に寄与するような新産業の創出に資する領域			
		関連する領域 (2)【任意】	なし			
		関連する領域 (3)【任意】	なし			
6.	主要区分	最も関連の深い区分 (大区分)	B			
		最も関連の深い区分 (中区分)	12	解析学、応用数学およびその関連分野		
		最も関連の深い区分 (小区分)	12040	応用数学および統計数学関連		
		次に関連の深い区分 (大区分)【任意】	J			
		次に関連の深い区分 (中区分)【任意】	60	情報科学、情報工学およびその関連分野		
		次に関連の深い区分 (小区分)【任意】	60020	数理情報学関連		
7.	授与する博士学位分野・名称	博士 (学術)、博士 (数理学)、博士 (機能数理学)、博士 (情報科学)、博士 (経済学)、博士 (理学)、博士 (工学) 付記する名称：マス・フォア・イノベーション卓越大学院プログラム				
8.	学生の所属する専攻等名 (主たる専攻等がある場合は下線を引いてください。)	九州大学 大学院マス・フォア・イノベーション連係学府				
9.	連合大学院又は共同教育課程による実施の場合、その別 ※ 該当する場合には○を記入		10. 本プログラムによる学位授与数 (年度当たり) の目標 ※ 補助期間最終年度の数字を記入してください。			
連合大学院		共同教育課程		14名		
11. 連携先機関名 (他の大学、民間企業等と連携した取組の場合の機関名)						
統計数理研究所、理化学研究所 (革新知能統合研究センター、数理創造プログラム)、富士通株式会社富士通研究所、株式会社Beautiful Mind、マツダ株式会社、住友電気工業株式会社、産業技術総合研究所、糸島市 (地域振興課)、日本電信電話株式会社、イリノイ大学アーバナ-シャンペーン校数学科 (アメリカ)、カリフォルニア大学サンディエゴ校数学科 (アメリカ)、ラ・トローブ大学数学統計学科 (オーストラリア)、国立シンガポール大学数学科 (シンガポール共和国)、台湾師範大学数学科 (台湾)、ライデン大学数学研究所 (オランダ)、ツーズ研究所ベルリン (ドイツ)						

(【2004】機関名：九州大学 プログラム名称：マス・フォア・イノベーション卓越大学院)

14. プログラム担当者一覧								
※「年齢」は公表しません。								
番号	氏名	フリガナ	年齢	機関名・所属(研究科・専攻等)・職名	学位	現在の専門	役割分担	ポスト(割合)
1	(プログラム責任者) 辻井 正人	ツヅイ マサト		九州大学、大学院数理学研究院・研究院長、 大学院数理学府・学府長、大学院マス・フォ ア・イノベーション関係学府・学府長	博士(理学)	力学系	プログラム責任者	2
2	(プログラムコーディネーター) 佐伯 修	サエキ オサム		九州大学、マス・フォア・インダストリ研究 所・教授、大学院数理学府・教授、大学院マ ス・フォア・イノベーション関係学府・副学 府長	博士(理学)	トポロジー、 データ可視化	プログラムコーディネーター	4
3	落合 啓之	オチアイ ヒロユキ		九州大学、マス・フォア・インダストリ研究 所・教授、大学院数理学府・教授、大学院マ ス・フォア・イノベーション関係学府・教授	博士(数理科 学)	代数解析	広報担当	2
4	梶原 健司	カジハラ ケンジ		九州大学、マス・フォア・インダストリ研究 所・所長、大学院数理学府・教授、大学院マ ス・フォア・イノベーション関係学府・教授	博士(工学)	可積分系	入学試験担当	2
5	神山 直之	カミヤマ ナオユキ		九州大学、マス・フォア・インダストリ研究 所・教授、大学院数理学府・教授、大学院マ ス・フォア・イノベーション関係学府・教授	博士(工学)	離散最適化	卓越社会人博士課程制度担当	1
6	河原 吉伸	カワハラ ヨシノブ		九州大学、マス・フォア・インダストリ研究 所・客員教員/理化学研究所、革新知能統合 研究センター 構造的学習チーム・チーム リーダー	博士(工学)	機械学習	数学力アドバイザー	1
7	白井 朋之	シライ トモユキ		九州大学、マス・フォア・インダストリ研究 所・教授、大学院数理学府・教授、大学院マ ス・フォア・イノベーション関係学府・教授 /理化学研究所、革新知能統合研究セン ター・客員研究員	博士(数理科 学)	確率論	カリキュラム担当(数学)	2
8	福本 康秀	フクモト ヤスヒデ		九州大学、マス・フォア・インダストリ研究 所・教授、大学院数理学府・教授、大学院マ ス・フォア・イノベーション関係学府・教授	理学博士	流体力学	産学連携担当	2
9	溝口 佳寛	ミゾグチ ヨシヒロ		九州大学、マス・フォア・インダストリ研究 所・教授、大学院数理学府・教授、大学院マ ス・フォア・イノベーション関係学府・教授	博士(理学)	計算理論	数理データサイエンス教育研 究センター担当	2
10	鍛冶 静雄	カシノ シズオ		九州大学、マス・フォア・インダストリ研究 所・教授、大学院数理学府・教授、大学院マ ス・フォア・イノベーション関係学府・教授	博士(理学)	位相幾何学	共創力強化委員	1
11	田上 大助	カミガミ ダイスケ		九州大学、マス・フォア・インダストリ研究 所・准教授、大学院数理学府・准教授、大学 院マス・フォア・イノベーション関係学府・ 准教授	博士(数理科 学)	数値解析	マス・フォア・イノベーショ ンセミナー担当	1
12	Cesana Pierluigi	チェサナ ピエルイジ		九州大学、マス・フォア・インダストリ研究 所・准教授、大学院数理学府・准教授、大学 院マス・フォア・イノベーション関係学府・ 准教授	Ph. D. (Applied Mathematics)	PDE, Calculus of variations, Materials Science	国際連携担当	1
13	手老 篤史	テロウ アツシ		九州大学、マス・フォア・インダストリ研究 所・准教授、大学院数理学府・准教授、大学 院システム生命科学府・准教授、大学院マ ス・フォア・イノベーション関係学府・准教 授	博士(理学)	数理モデリン グ	モデリング力強化委員	1
14	富安 亮子	トミヤス リョウコ		九州大学、マス・フォア・インダストリ研究 所・教授、大学院数理学府・教授、大学院マ ス・フォア・イノベーション関係学府・教授	博士(数理科 学)	応用代数	共創力強化委員	1
15	廣瀬 慧	ヒロセ ケイ		九州大学、マス・フォア・インダストリ研究 所・教授、大学院数理学府・教授、大学院マ ス・フォア・イノベーション関係学府・教授	博士(機能数 理学)	統計科学	統計力強化委員	1
16	脇 隼人	ワキ ハヤト		九州大学、マス・フォア・インダストリ研究 所・准教授、大学院数理学府・准教授、共創 学部・准教授、大学院マス・フォア・イノ ベーション関係学府・准教授	博士(理学)	最適化	スタディグループ担当	1
17	Gaina Daniel Mircea	ガイナ ダニエル ミルチャ		九州大学、マス・フォア・インダストリ研究 所・准教授、大学院数理学府・准教授、大学 院マス・フォア・イノベーション関係学府・ 准教授	博士(情報科 学)	数理論理学、 圏論、形式手 法、ソフト ウェア工学	数学力強化委員	1
18	Nguyen Dinh Hoa	グエン ティン ホア		九州大学、カーボンニュートラル・エネル ギー国際研究所・准教授、マス・フォア・イ ンダストリ研究所・准教授、大学院数理学 府・准教授、大学院マス・フォア・イノベ ーション関係学府・准教授	博士(情報理 工学)	Applied Math for Energy, Control Theory	モデリング力強化委員	1
19	廣瀬 雅代	ヒロセ マサヨ		九州大学、マス・フォア・インダストリ研究 所・助教、大学院数理学府・助教、大学院マ ス・フォア・イノベーション関係学府・助教	博士(工学)	統計科学	統計力強化委員	1
20	石井 豊	イシイ ユカ		九州大学、大学院数理学研究院・教授、大学 院数理学府・教授、大学院マス・フォア・イ ノベーション関係学府・教授	博士(数理科 学)	力学系理論	キャリア支援担当	1
21	廣島 文生	ヒロシマ フミオ		九州大学、大学院数理学研究院・教授、大学 院数理学府・教授、大学院マス・フォア・イ ノベーション関係学府・教授	博士(理学)	場の量子論	経理担当	2
22	原 隆	ハラ タカシ		九州大学、大学院数理学研究院・教授、大学 院数理学府・教授、大学院マス・フォア・イ ノベーション関係学府・教授	理学博士	数理物理学	数学力強化委員	1
23	斎藤 新悟	サイトリ シンゴ		九州大学、大学院基礎教育院・准教授、大学 院数理学府・准教授、大学院マス・フォア・ イノベーション関係学府・准教授	Ph. D. (Mathematic s)	古典的実解析 学	モデリング力強化委員	1

14. プログラム担当者一覧(続き)

氏名	フリガナ	年齢	機関名・所属(研究科・専攻等)・職名	学位	現在の専門	役割分担	ポート(割合)
24	新居 俊作	ニイ シュンサク	九州大学、大学院数理学研究院・准教授、大学院数理学府・准教授、大学院マス・フォア・イノベーション連係学府・准教授	博士(理学)	力学系	モデリング力強化委員	1
25	白谷 正治	シラタニ マサハル	九州大学、大学院システム情報科学府・教授、大学院システム情報科学府・教授、大学院システム生命科学府・教授、大学院マス・フォア・イノベーション連係学府・教授	工学博士	プラズマ理工学	モデリング力強化委員	1
26	内田 誠一	ウチダ セイイチ	九州大学、大学院システム情報科学府・教授、大学院システム情報科学府・教授、大学院システム生命科学府・教授、大学院マス・フォア・イノベーション連係学府・教授	博士(工学)	画像解析・実データ解析	数理データサイエンス教育研究センター担当	1
27	小野 謙二	オノ ケンジ	九州大学、情報基盤研究開発センター・教授、大学院システム情報科学府・教授、大学院マス・フォア・イノベーション連係学府・教授	博士(工学)	計算科学	数学共創モデリング担当	1
28	竹内 純一	タケウチ ジュンイチ	九州大学、大学院システム情報科学府・教授、大学院システム情報科学府・教授、大学院マス・フォア・イノベーション連係学府・教授	博士(工学)	機械学習、情報理論	カリキュラム担当(情報)	1
29	廣川 真男	ヒロカワ マサオ	九州大学、大学院システム情報科学府・教授、大学院システム情報科学府・教授、大学院マス・フォア・イノベーション連係学府・教授	博士(理学)	数理物理工学	共創力強化委員	1
30	櫻井 大督	サクライ ダイスク	九州大学、情報基盤研究開発センター附属オミクス計測・計算科学センター・准教授、大学院数理学府・准教授、大学院マス・フォア・イノベーション連係学府・准教授	博士(科学)	データ可視化	数学共創モデリング担当	0.5
31	山本 薫	ヤマモト カオル	九州大学、大学院システム情報科学府・准教授、大学院システム情報科学府・准教授、大学院マス・フォア・イノベーション連係学府・准教授	Ph. D. (Control Engineering)	制御工学	共創力強化委員	1
32	瀧本 太郎	タキモト タロウ	九州大学、大学院経済学研究院・教授、大学院経済学府・教授、大学院マス・フォア・イノベーション連係学府・教授	博士(経済学)	計量経済学	モデリング力強化委員	0.5
33	大西 俊郎	オオニシ トシオ	九州大学、大学院経済学研究院・教授、大学院経済学府・教授、大学院マス・フォア・イノベーション連係学府・教授	博士(学術)	統計科学	数学共創モデリング担当	0.5
34	北原 知就	キタハラ トモナリ	九州大学、大学院経済学研究院・准教授、大学院経済学府・准教授、大学院マス・フォア・イノベーション連係学府・准教授	博士(工学)	数理計画	数学共創モデリング担当	0.5
35	小室 理恵	コムロ リエ	九州大学、大学院経済学研究院・准教授、大学院経済学府・准教授、大学院マス・フォア・イノベーション連係学府・准教授	Ph. D. (応用数学)	応用数学	数学共創モデリング担当	0.5
36	佐竹 暁子	サタケ アキコ	九州大学、大学院理学研究院・教授、大学院システム生命科学府・教授、大学院マス・フォア・イノベーション連係学府・教授	博士(理学)	数理生物学	数学共創モデリング担当	0.5
37	岩見 真吾	イワミ シンゴ	九州大学、マス・フォア・インダストリ研究所・客員教員	博士(理学)	数理モデル型の定量的データ解析	数学共創モデリング担当	0.5
38	岡本 剛	オカモト ユウジ	九州大学、基幹教育院・准教授、大学院数理学府・准教授、大学院システム生命科学府・准教授、大学院マス・フォア・イノベーション連係学府・准教授	博士(工学)	システム神経科学、生体医工学	数学共創モデリング担当	0.5
39	有村 秀孝	アリムラ ヒデタカ	九州大学、大学院医学研究院・教授、大学院医学系学府・教授、大学院マス・フォア・イノベーション連係学府・教授	博士(工学)	医用画像解析、医学物理、計算機支援診断放射線治療、コンピュータ支援診断	数学共創モデリング担当	0.5
40	中島 直樹	ナカシマ ナオキ	九州大学、病院メディカル・インフォメーションセンター・教授、大学院医学系学府・教授、大学院マス・フォア・イノベーション連係学府・教授	博士(医学)	医療情報学、糖尿病学、内科学	数学共創モデリング担当	0.3
41	寺本 振透	テラモト シントウ	九州大学、大学院法学研究院・教授、大学院法学府・教授、大学院マス・フォア・イノベーション連係学府・教授	法学士	知的財産法	社会連携担当	1
42	成原 慧	ナリハラ サトシ	九州大学、大学院法学研究院・准教授、大学院法学府・准教授、大学院マス・フォア・イノベーション連係学府・准教授	修士(社会情報学)	情報法	数学共創モデリング担当	0.3
43	伊藤 浩史	イトウ ヒロシ	九州大学、大学院芸術工学研究院・准教授、大学院芸術工学府・准教授、大学院マス・フォア・イノベーション連係学府・准教授	博士(理学)	時間生物学	数学共創モデリング担当	0.2
44	丸山 修	マルヤマ オサム	九州大学、大学院芸術工学研究院・准教授、大学院芸術工学府・准教授、大学院マス・フォア・イノベーション連係学府・准教授	博士(理学)	生物情報科学	数学共創モデリング担当	0.5
45	坂東 麻衣	ハントウ マイ	九州大学、大学院工学研究院・教授、大学院工学府・教授、大学院マス・フォア・イノベーション連係学府・教授	博士(工学)	宇宙工学	数学共創モデリング担当	0.5
46	岡安 崇史	オカヤス タカシ	九州大学、大学院農学研究院・教授、大学院生物資源環境科学府・教授、大学院マス・フォア・イノベーション連係学府・教授	博士(農学)	農業情報学	数学共創モデリング担当	0.5

14. プログラム担当者一覧(続き)

氏名	フリガナ	年齢	機関名・所属(研究科・専攻等)・職名	学位	現在の専門	役割分担	ポイント(割合)
47	Ta Viet Ton	タビエイ トン	九州大学、農学研究院・附属国際農業教育・研究推進センター・准教授、大学院生物資源環境科学府・准教授、大学院マス・フォア・イノベーション連係学府・准教授	博士(工学)	確率微分・偏微分方程式、数理生物学、ディープラーニング、コンピュータシミュレーション	数学共創モデリング担当	0.5
48	竹村 俊彦	タケムラ トシロ	九州大学、応用力学研究所・教授、大学院総合理工学府・教授、大学院マス・フォア・イノベーション連係学府・教授	博士(理学)	気象学、大気環境学	数学共創モデリング担当	0.5
49	久保田 浩行	クボタ ヒロユキ	九州大学、生体防御医学研究所・教授、大学院システム生命科学府・教授、大学院マス・フォア・イノベーション連係学府・教授	博士(理学)	システム生物学	数学共創モデリング担当	0.3
50	宇田 新介	ウダ シンスケ	九州大学、生体防御医学研究所・准教授、大学院システム生命科学府・准教授、大学院マス・フォア・イノベーション連係学府・准教授	博士(理学)	システム生物学、機械学習	数学共創モデリング担当	0.5
51	二宮 嘉行	ニミヤ ヨシユキ	統計数理研究所、数理・推論研究系・教授	博士(学術)	統計学	統計力アドバイザー	0.5
52	田部井 靖生	タベイ ヤスオ	理化学研究所、革新知能統合研究センター圧縮情報処理ユニット・ユニットリーダー	博士(科学)	計算機科学	共創力アドバイザー	0.5
53	坪井 俊	ツボイ タカシ	理化学研究所、数理創造プログラム・副プログラムディレクター/武蔵野大学、工学部・教授	理学博士	位相幾何学・力学系理論	数学力アドバイザー	0.5
54	平岡 裕章	ヒラオカ ヤサキ	理化学研究所、革新知能統合研究センタートポロジカルデータ解析チーム・チームリーダー/京都大学、高等研究院・教授	博士(理学)	応用トポロジー	数学力アドバイザー	0.5
55	Hur Vera Mikyoung	フー ベラ ミキョウ	イリノイ大学アーバナ・キャンペーン校・数学科・教授	Ph. D. (Mathematics)	PDE, Applied Mathematics	数学力アドバイザー	0.5
56	Baryshnikov Julijj	バリシニコフ ユリイ	イリノイ大学アーバナ・キャンペーン校、数学科・教授、電気・コンピュータ工学科・教授/九州大学、マス・フォア・インダストリ研究所・客員教員	Ph. D. (Mathematics)	応用幾何学	国際共創力強化インターンシップ担当	1
57	Ni Lei	ニ レイ	カリフォルニア大学サンディエゴ校数学科・教授	Ph. D. (Mathematics)	幾何解析	数学力アドバイザー	0.5
58	Prendergast Luke	プレンドガスト ルーク	ラ・トロープ大学、数学統計学科・教授	Ph. D. (Statistical Science)	統計科学	統計力アドバイザー	0.5
59	Toh Kim-Chuan	トウ キムチュアン	国立シンガポール大学、数学科・教授	Ph. D. (Mathematics)	Matrix Optimization Problems	数学力アドバイザー	0.5
60	Lin Chun-Chi	リン チュンチ	台湾師範大学、数学科・教授	Ph. D. (Mathematics)	変分学	数学力アドバイザー	0.5
61	Verbitskiy Evgeny	ベリツキイ エフゲネー	フローニンゲン大学、ベルヌイ研究所・教授/ライデン大学数学研究所・准教授	Ph. D. (Mathematics)	力学系	数学力アドバイザー	0.5
62	品野 勇治	シナノ ユウジ	ツェー研究所ベルリン、数理最適化・科学情報・研究員	博士(工学)	情報学	モデリング力アドバイザー	0.5
63	穴井 宏和	アナイ ヒロカズ	富士通株式会社 富士通研究所 人工知能研究所・所長	博士(情報理工学)	計算代数・人工知能	共創力アドバイザー	0.5
64	渡邊 陽介	ワタナベ ヨウスケ	株式会社Beautiful Mind・代表取締役	Ph. D. (Mathematics)	トポロジー	共創力アドバイザー	0.5
65	三宅 陽一郎	ミヤケ ユウイチロウ	九州大学、マス・フォア・インダストリ研究所・客員教授/株式会社スクウェア・エニックス・AI部 ジェネラルマネージャー/リードAIリサーチャー/株式会社スクウェア・エニックス・AI&アーツ・アルケミー・CTO	博士(工学)	人工知能	モデリング力アドバイザー	0.1
66	前川 智哉	マエカワ トモキ	住友電気工業株式会社、研究企画業務部研究推進部・主席	修士(工学)	研究企画	産学共創力強化インターンシップ担当	0.1
67	竹ノ内 弘和	タケノウチ ヒロカズ	日本電信電話株式会社、先端集積デバイス研究所・所長	博士(工学)	先端集積デバイス	共創力アドバイザー	0.5
68	村田 純一	ムラタ ジュンイチ	九州大学、大学院システム情報科学研究院・研究院長、大学院システム情報科学府・学府長、大学院マス・フォア・イノベーション連係学府・副学府長	工学博士	制御工学、システム工学	数学共創モデリング担当	1
69	縫田 光司	ヌイタ ヒロシ	九州大学、マス・フォア・インダストリ研究所・教授、大学院数理科学府・教授、大学院マス・フォア・イノベーション連係学府・教授	博士(数理科学)	暗号、群論、離散数学	共創力強化インターンシップ担当	1

(【2004】機関名：九州大学 プログラム名称：マス・フォア・イノベーション卓越大学院)

14. プログラム担当者一覧（続き）

氏名	フリガナ	年齢	機関名・所属(研究科・専攻等)・職名	学位	現在の専門	役割分担	ポイント(割合)
70	荒川 豊		九州大学、大学院システム情報科学研究院・教授、大学院システム情報科学府・教授、大学院マス・フォア・イノベーション連係学府・教授	博士(工学)	IoT, 行動認識	数学共創モデリング担当	1
71	浦本 武雄		九州大学、マス・フォア・インダストリ研究所・助教、大学院マス・フォア・イノベーション連係学府・助教	博士(理学)	理論計算機科学	数学共創モデリング担当	8
72	徳永 真一		糸島市役所、経済振興部 学研都市づくり課 大学連携推進係・係長	学士(社会学)	地域振興	共創力アドバイザー	0.2
73	目良 貢		マツダ株式会社、技術研究所・シニアスペシャリスト	博士(機能数理学)	データ科学	共創力アドバイザー	0.2
74	石塚 裕大		九州大学、マス・フォア・インダストリ研究所・助教、大学院マス・フォア・イノベーション連係学府・助教	博士(理学)	教論的不変式論、ディオファントス幾何	数学共創モデリング担当	8
75	野下 浩司		九州大学、大学院理学研究院・助教、大学院システム生命科学府・助教、大学院マス・フォア・イノベーション連係学府・助教	博士(理学)	数理生物学	数学共創モデリング担当	0.5
76	伊豆永 洋一		九州大学、大学院経済学研究院 講師、大学院経済学府 講師、大学院マス・フォア・イノベーション連係学府 講師	博士(工学)	数理最適化	数学共創モデリング担当	0.5
77	吉田 寛		九州大学、大学院数理学研究院 准教授、大学院数理学府 准教授、大学院システム生命科学府 准教授、大学院マス・フォア・イノベーション連係学府 准教授	博士(理学)	数理生物	モデリング力強化委員	1
78	木村 慧		九州大学、大学院システム情報科学研究院 准教授、大学院システム情報科学府 准教授、大学院マス・フォア・イノベーション連係学府 准教授	博士(情報理工学)	数理最適化、アルゴリズム	モデリング力強化委員	1
79	山崎 啓介		産業技術総合研究所 人工知能研究センター・機械学習研究チーム長	博士(工学)	数理統計、人工知能、シミュレーション	異分野共創力強化インターンシップ担当	0.1
80	浦川 邦夫		九州大学、大学院経済学研究院 教授、大学院経済学府 教授、大学院マス・フォア・イノベーション連係学府 教授	博士(経済学)	応用経済学	カリキュラム担当(経済)	0.5
81	池田 達紀		九州大学、大学院工学研究院 准教授、大学院工学府 准教授、大学院マス・フォア・イノベーション連係学府 准教授	博士(工学)	物理探査学、地震学	数学共創モデリング担当	0.5
82	川野 秀一		九州大学、大学院数理学研究院 教授、大学院数理学府 教授、大学院マス・フォア・イノベーション連係学府 教授	博士(機能数理学)	統計科学	統計力強化委員	1
83	池 祐一		九州大学、マス・フォア・インダストリ研究所 准教授、大学院数理学府 准教授、大学院マス・フォア・イノベーション連係学府 准教授	博士(数理科学)	位相的データ解析	数学共創モデリング担当	1
84	池松 泰彦		九州大学、マス・フォア・インダストリ研究所 助教、大学院数理学府 助教、大学院マス・フォア・イノベーション連係学府 助教	博士(数理学)	暗号理論	数学力強化委員	1
85	孫 兆鴻		九州大学、大学院システム情報科学研究院 准教授、大学院システム情報科学府 准教授、大学院マス・フォア・イノベーション連係学府 准教授/株式会社サイバーエージェント・Research Scientist	博士(情報学)	人工知能、計算経済学、マッチング理論	数学共創モデリング担当	0.5
86	東藤 大樹		九州大学、大学院システム情報科学研究院 准教授、大学院システム情報科学府 准教授、大学院マス・フォア・イノベーション連係学府 准教授	博士(情報科学)	アルゴリズム的ゲーム理論、マーケットデザイン	数学共創モデリング担当	0.5
87	宮崎 毅		九州大学、大学院経済学研究院 教授、大学院経済学府 経済工学専攻長、大学院マス・フォア・イノベーション連係学府 副学府長	博士(経済学)	財政学	数学共創モデリング担当	0.5
88	西村 友海		九州大学、大学院法学研究院 准教授、大学院法学府 准教授、大学院マス・フォア・イノベーション連係学府 准教授	博士(法学)	議論の理論、論理学・数学の哲学、人工知能と法	数学共創モデリング担当	0.3
89	劉 維		九州大学、大学院工学研究院 准教授、大学院工学府 准教授、大学院マス・フォア・イノベーション連係学府 准教授	博士(工学)	原子力熱流動、原子力安全	数学共創モデリング担当	0.5

進捗状況の概要【2ページ以内】

進捗状況の概要として、①特筆すべき成果のあった事項、②計画通り進んでいる事項、③改善が必要な事項、④プログラムとしての今後の見通しを簡潔に記載してください。

① 特筆すべき成果のあった事項**1. 大学院全体の改革を実現する卓越した学位プログラムの確立**

・数理学府、システム情報科学府、経済学府の協力のもと、分野横断的組織の柔軟な運営を可能とする本学独自の学府・研究院制度を活用し、研究科等連係課程実施基本組織としてマス・フォア・イノベーション連係学府を新設し、一体的に本プログラムを実施している。数ある「卓越大学院プログラム」のうち研究科等連係課程を活用するものは**本プログラムのみ**である。これはダ・ヴィンチプログラム（複数学府が参画し、分野横断型人材を育成する本学独自の大学院プログラム）の先導モデルで、本学の最重要大学院プログラムとして明確に位置づけられている。総長主導のもと**卓越奨励金を大学が全額負担**するなどの経費的支援に留まらず、様々な部局の教員の参画で、本学の大学院教育改革を先導している。他学府にも好影響があり、文系部局でも後続のプログラムが立ち上がりつつあるほか、数理学府では異分野連携活動やインターンシップを行う学生の増加につながっている。

・総長主導のもと**未来人材育成機構**を本学に設置し、他の大学院教育プログラムとも連携しつつ教育改革を進めてゆく準備が整った。その中でも本プログラムは成功例としてとらえられている。

・**卓越社会人博士課程制度**により1名が修士課程修了後に連携先機関の富士通研究所に就職し、そのまま博士後期課程に在籍して研究活動を行っている。日本初の画期的なシステムが始動できている。

・他大学の卓越大学院プログラムと連携し、分野の異なる学生同士で研究発表等を行って議論を行う取組を実施しており、異分野学生と切磋琢磨する有意義な活動となっている。

・マス・フォア・イノベーション研究所（以下、IMI）主導のもと本学基金**産業数学人材育成プロジェクト**を立ち上げ、寄附を募っている。その基金で学生1名をラ・トローブ大学に派遣した。

2. 修了者の高度な「知のプロフェッショナル」としての成長及び活躍の実現性

・コロナ禍が収まりを見せた令和4年度には教員の引率のもと多くの学生を海外派遣し、海外での研究活動の重要性・有効性に気付かせ、**学生の海外意識の向上**につなげた。また海外インターンシップ第1号の学生が重要な共同研究成果を得て、受入れ大学から高い評価を受けるなど大成功を収めた。

・**日本学術振興会特別研究員採用数**が想定を上回っており、本プログラム学生の卓越性を示している。

・学生が学内異分野インターンシップにおいて数学をベースに新たな成果を出し、当該分野の国際学会で発表するなど、想定以上に活躍している。**異分野連携に対する学生の反応**は極めてよい。

3. 高度な「知のプロフェッショナル」を養成する指導体制の整備

・**ヤングメンター**による、マス・フォア・イノベーションカフェを活用してのきめ細やかな学生対応が功を奏し、学生の日常的な相談に対応できており、学生の修学状況が大きく改善されている。

・学生1名が**ジョブ型インターンシップ制度**を本学で初めて活用し、インターンシップ自体も成功した。C-ENGINE（一般社団法人産学協働イノベーション人材育成協議会）と連携したインターンシップマッチングも始動し、IMI主導により**コンサルティング付きインターンシップ制度**も確立した。

・富士通研究所と連携し、IMIに**富士通意思決定数理モデリング共同研究部門**を設置した。常駐の企業研究者が卓越社会人博士課程制度適用学生と連携するなど、本プログラムの教育に携わる。技術交流会も定期的に行い研究交流を促進している。さらにIMI産学連携コーディネーター主導で住友電工とも連携が進み、系列企業で新設の数学連携部署にIMI教員が異動するなど、人材交流も進んでいる。

・**イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校**と本学は戦略的パートナー協定を締結し、数学など多くの分野でマッチングファンドシステムを構築して、組織対組織の連携活動を推進している。

・IMIでは概算要求で獲得した外国人教員ポストに、連携先機関であるラ・トローブ大学との**クロスアポイントメント**により、著名な統計学教授を共同雇用する予定で契約締結を進めている。

4. 優秀な学生の獲得

・本プログラムの内容や意義について、新聞報道などにより学内外で知名度がアップしており、学部からの**出願者数の増加**につながっている。その結果、優秀な学生が獲得できている。

・弁護士として仕事をした実績のある学生など、異分野を基盤とする学生でありながら数学的レベルが高い学生など、**多様な背景をもつ学生**が獲得できている。令和5年度は経済学系の募集1名に対し出願者が5名おり、2名の合格者を出すなど、**文系分野の優秀な学生の獲得**もできている。

② 計画通り進んでいる事項**1. カリキュラム・共創実践活動の整備**

・IMIを中心に、異分野連携に特化した**数学カリキュラム**を新たに構築して教育に当たっている。こうした数学科目群による大学院教育はこれまでになく、今後の、数学を基盤に異分野連携を進めてゆく**数学博士の教育カリキュラム**として標準的なものとなるべく、毎年改善を図っている。

・**共創力強化インターンシップ**への学生派遣を順調に開始し、2名が受入れ先機関から高評価を得た。

- ・スタディグループ・ワークショップを予定どおり実施し、共創実践の効果的活動としている。
- ・企業現場で数学をベースに活躍する研究者の講演からなる IMI コロキウムを頻繁に開催したり、スタディグループ・ワークショップやインターンシップを通して企業研究者との交流機会を設けたりするなど、社会で活躍できるキャリアパスの提示に努めている。
- ・アジア太平洋産業数学コンソーシアム(APCMfI)主催の国際研究集会 Forum “Math-for-Industry” を本プログラムとして共催し、学生がポスター発表へ参画するなど、貴重な成果発表の場としている。

2. 世界に通用する確かな質保証システム

- ・資格審査として Prelims (博士前期課程修了時)、Preliminary Thesis Exam (博士後期課程2年次終了時)により学生の質を保証している。また、内規を制定するなど、**学位審査体制を確立した。**

3. 事業の継続・発展

- ・General Meeting を開催し、プログラム担当者や連携先機関との意識や情報の共有が図れている。
- ・グローバル・アドバイザリボードを学外の有識者5名で組織し、本プログラムの進捗状況を定期的に報告するとともに、助言を受けて、本プログラムの改善に役立てている。
- ・ホームページを整備し、多様な背景を持つ優秀な学生を継続的に獲得できるよう努めている。
- ・卓越事務支援室を本学の理学部等事務部に新設し、修学支援をきめ細やかにを行う体制を整えている。

③ 改善が必要な事項

- ・数学専攻の学生から、企業連携において、より**実務的なプログラミング教育**が欲しい、といった声がある。そこで、プログラミング演習のオンライン教材を試験的に活用しているところである。
- ・産業数学への企業のニーズが高まる中、共同研究拡充により研究を教育にフィードバックする体制構築、学生の出口と結びつけるような工夫、さらにはそうした活動への企業等との共同研究費の学外資金としての活用などを検討する必要がある。これについては、IMI で教員によるコンサルティング付きインターンシップ制度を確立して共同研究を拡充する取組としているほか、IMI に新設した**リエゾン戦略部門**を機能させ、学生が共同研究に参画しやすい環境を整えてゆくことなどにより、共同研究費を学外資金として活用していく。
- ・学生の**アカデミック英語能力拡充**をさらに図る必要があるため、海外への派遣、英語による学術的な勉強会開催などを通して実践的コミュニケーション能力を向上させる。国際会議等での発表、論文執筆などの際にはヤングメンターや外国人教員が指導を行う体制も確立してゆく。
- ・卒業生に対しても**支援し助言を与える**仕組みを構築することが課題であり、例えば IMI で予定している、産業界や一般社会人対象のチュートリアルの際に、本プログラム卒業生にも参画を呼び掛けるなどといった対応を取ってゆく。
- ・イリノイ大学、ラ・トロープ大学等に加え、インド工科大学、復旦大学、カリフォルニア大学サンディエゴ校を重点校と位置付け、優秀な留学生を呼び込む計画であったが、コロナ禍の影響で**海外重点校からの学生獲得**が進んでいない。今後は関係校への呼びかけを通じて優秀な学生獲得を目指す。

④ プログラムとしての今後の見通し

- ・本プログラムの内容や意義、そしてその成果を、数学コミュニティだけではなく**社会一般に発信し**、数学をベースとした博士人材の社会における活躍を促進する。
- ・修了生が社会で活躍できるよう、**キャリアパス支援**をしっかりと行ってゆく。
- ・国からの経費的支援が終了したあともプログラムが継続できるよう、**リソースを安定的かつ継続的に獲得して活用できる仕組み**を、大学の制度的支援も得ながら、確実に構築してゆく。
- ・卓越**社会人博士課程制度**に興味を示している企業が複数あり、積極的に連携を進めてゆくことにより、**参加する企業や連携先機関の増加**を目指す。
- ・学生の**海外派遣**をさらに進める。経費的支援が課題となるが、海外滞在を支援する経費、あるいはプロジェクト経費などの外部資金を獲得するといった努力を続ける。
- ・外部資金などの自助努力により学術研究員や若手教員を雇用し、エフォートの一部を使って**ヤングメンター**として、学生へのきめ細やかな対応を継続する。
- ・今後、数学をベースに異分野と共創する高度な「知のプロフェッショナル」を輩出する分野を拡大してプログラムを発展させるため、本学における**プログラム担当教員の部局や分野を拡大**してゆく。
- ・本学が設定した KPI について、未来人材育成機構を中心とする**全学的なマネジメント体制**のもとで検証・改善を引き続き行ってゆく。
- ・資金計画に沿った学内外資源の活用については、学内からの支援は申請時の想定を超えており、継続性も担保できている。また、**外部資金の獲得**は順調に進んでおり、プログラム担当教員が大型プロジェクト経費を獲得して学生を RA として雇用し、教育の充実に資する取組とするなど、継続性のある支援体制が構築できている。
- ・IMI では産業界との共同研究を発展させるため**リエゾン戦略部門**を設立した。本部門が、今後学生の適切なキャリアパス構築を見据えた種々の活動を先導する。産業界との共同研究を推進する教員も配し、学生が参画しやすい環境を整える。こうして共同研究の創出を持続的に展開し、企業との共同研究による外部資金も獲得してそれを有意義に活用する環境が整うことになる。